

事業評価書

拠点事業者:株式会社いかす

事業	成果目標の達成率※	総合所見
令和3年度補正 産地生産基盤パワーアップ事業 (推進事業)	61.0%	実績は伸びているが、重量単価の高い果菜類が猛暑により、初期生育において大きなダメージを負ったこと等から設定した目標は達成できなかった。 成果目標: 販売額46,614,000円(252%増) 現状 R3 13,253,000円 → 実績 R6 20,495,319円
令和3年度補正 産地生産基盤パワーアップ事業 (整備事業)	267.5%	集出荷貯蔵施設を整備することにより生産量、契約取引ともに目標を達成した。 成果目標: 全出荷量に占める契約取引の割合を5ポイント以上増加 33%(19,800kg/60,000kg)(契約出荷量/総出荷量) 現状 R3 0%(0kg/14,500kg) → 実績 R6 88.3%(55,331kg/62,630kg)
	400.6%	集出荷貯蔵施設を整備することにより生産量、契約取引ともに目標を達成した。 成果目標: 全出荷量に占めるブランド野菜の割合を5ポイント以上増加 15%(9,000kg/60,000kg)(ブランド野菜の出荷量/総出荷量) 現状 R3 0%(0kg/14,500kg) → 実績 R6 69.1%(43,310kg/62,630kg)

※小数点第1位まで記載する

事業評価書

拠点事業者: NO-RA

事業	成果目標の達成率※	総合所見
令和3年度補正 産地生産基盤パワーアップ事業 (推進事業)	130.0%	機械導入が功を奏し、販売額増加の目標を達成した。 成果目標: 販売額33,529,421円(10%増) 現状 R3 30,481,291円 → 実績 R6 43,635,073円
令和元年度補正 産地生産基盤パワーアップ事業 (整備事業)	97.2%	集出荷貯蔵施設を整備することにより生産量、契約取引ともに目標を達成した。 成果目標: 全出荷量に占める契約取引の割合を33ポイント以上増加 52.4%(26,200kg/50,000kg)(契約出荷量/総出荷量) 現状 R3 19.4%(5,822.5kg/30,000kg) → 実績 R6 51.5%(32,886kg/63,830kg)
	-0.4%	実績値は伸びているが、生鮮野菜需要に応えるのが精一杯で加工には手が回らなかったこと等から設定した目標は達成できなかった。 成果目標: 全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの割合を10.4ポイント以上増加 26.6%(8,000kg/50,000kg)(加工、外食・中食出荷量/総出荷量) 現状 R3 5.6%(1,679.5kg/30,000kg) → 実績 R6 5.5%(3,567kg/63,830kg)

※小数点第1位まで記載する

別添様式2

事業評価書

拠点事業者: 猛暑下での花き安定供給実証コンソーシアム

事業	成果目標の達成率※	総合所見
令和元・2年度補正 産地生産基盤パワーアップ事業 (推進事業)	332.5%	産地から市場へのコールドチェーンを確立し、総保管時間が延長されたこと等により目標を達成した。 成果目標: 生産から流通・種皮段階に至るまでの廃棄ロス5%以上の削減 目標値:27.12% 現状 R元 34.81% → 実績 R6 9.24%

※小数点第1位まで記載する

事業評価書

拠点事業者:株式会社大田花き

事業	成果目標の達成率※	総合所見
令和3年度補正 産地生産基盤パワーアップ事業 (整備事業)	1.9%	国内需要の変化や世界情勢等の影響を受けたこと等から、海外向けの販路拡大に係る出荷量の割合増加目標は達成できなかった。 成果目標: 海外向けの販路拡大に係る出荷量又は出荷額の割合を1ポイント以上増加 4.75%(2,380千本/50,143千本)(海外出荷量/総取扱量) 現状 R2 0.12%(57.8千本/50,143千本) → 実績 R6 0.21%(92.2千/42,952千本)
	512.8%	産地との連携した取組等により目標を達成した。 成果目標: 全出荷量に占める契約取引の割合を3ポイント以上増加 (出荷額(取扱額)2億円以上) 35.25%(17,674千本/50,143千本)(契約取引/総取扱量) 現状 R2 28.27%(14,174千本/50,143千本) → 実績 R6 64.1%(27,513千本/42,952千本)

※小数点第1位まで記載する